

コープデリ商品検査センターで学ぶ

正しい手の洗い方

コープデリ
商品検査センターが昨年
リニューアルオープン!

コープデリ商品検査センターは、商品の微生物・残留農薬・放射性物質などの検査や、組合員の皆さんからお申し出いただいた商品を調査しています。昨年リニューアルし、食の安全に関わる実験を体験したり、



左からコープみらい組合員の神田幸樹様、広田好美さん、いばらきコープ組合員の鈴木康夫さん。広田さんはお子さんと一緒に参加しました。

検査の様子を間近で見学したりできるようになりました。今回は、3人の組合員の皆さんが商品検査センターで手洗いの大切さを学びました。

手は
ばい菌の運び屋?!

「食の安全」を守るためには、家庭での手洗いがとても大切です。実は手には細菌がいっぱい。この手で調理器具や食品に触ることで、細菌を広げてしまうことがあります。生産者やコープが鮮度・品質を落とさないようにお届けした商品でも、口に入るまでに食中毒菌に汚染される恐れがあるのです。

商品検査センターでは、家庭での手洗いの大切さを学ぶため、手洗いチェック実験を行っています。手洗いチェック実験に参加した皆さんは、隅々まで手を洗えていたのでしょうか?

手洗いチェック実験スタート!



汚れに見立てた専用のローションを手に塗ってから、普段と同じように手を洗います。

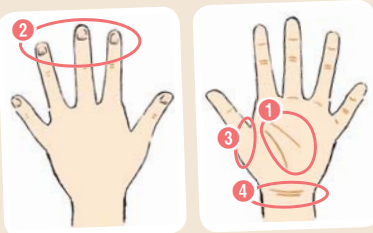


専用のライトを当てて確認。洗い残しの部分が白く光ります。特に爪の周り、関節のしわの部分が多く光っていました。



一人ひとり、どこを洗い残していたか確認。正しい手の洗い方を学んで再度手を洗い、今度はきれいに落ちました。

汚れが残りやすいのはここ!



①しわの間 ②爪 ③親指の付け根 ④手首は汚れが残りやすく、これらの部分に気を付けて手を洗うことが大切です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



コープは、事業と活動を通して国連「SDGs (持続可能な開発目標)」を支援します。今回の取り組みは、「目標17・パートナーシップで目標を達成しよう」につながっています。

保存版

正しい手の洗い方

1 START!



指輪や時計などのアクセサリーは外す。流水で手を洗い、石けんを付け手のひらをよくこする

2



手の甲を伸ばすようにこする

3



指先、爪の間を念入りにこする

7 GOAL!

十分に水で流し、清潔なタオルでよく拭き取って乾かす

6



手首も忘れずに洗う

5



親指と手のひらをねじり洗います

4



指の間を洗う

✂ キリトリ ここで切り取って、洗面所などに貼って使いましょう

ホームページから見学の申し込みができます

コープデリ商品検査センターでは、実際の検査の様子を見学したり、食の安全をテーマにした実験を体験できます。

お申し込みは
ホームページをチェック!

コープデリ商品検査センター

検索



所在地：埼玉県さいたま市北区吉野町2-1417

- 電車をご利用の場合
「大宮」駅より、埼玉新都市交通
ニューシャトル「吉野原」駅下車、徒歩5分
- お車をご利用の場合
東北自動車道「岩槻IC」から約20分
圏央道「桶川加納IC」から約20分
首都高速埼玉大宮線「与野IC」から約30分
※駐車場には限りがあります

検査の様子も見学しました

商品検査センターでは、微生物検査や残留農薬検査、食品添加物検査、放射性物質検査、食物アレルギー検査、遺伝子検査など年間約3万件の検査を行っています。検査室はガラス越しに見学でき、検査で使用しているものと同じ器具に触れたり、タブレット端末で検査の内容をより詳しく学ぶこともできます。



体験・見学を終えて

鈴木さん

自分ではきれいに手を洗ったつもりでも、汚れがたくさん残っていることに驚きました。自分の手の汚れの残りやすいところが分かったので、家での手洗いに気を付けようと思いました。

広田さん

こんなにたくさんの種類の検査をしていると思ってなくてびっくり! さまざまな検査機器があるんですね。実際に検査器具に触ることもでき、とても勉強になりました。

神田さん

私たちが利用している商品は、たくさんの過程を経て届いていることが分かりました。コープなら安心、と思いました。



生産者やコープがリレーしてきた「食の安全」のバトンを受け取った皆さん。アンカーとして「食卓」というゴールへ届けることを誓いました